



2024年9月24日

「メディア対抗ロードスター4時間耐久レース」がギネス世界記録™を獲得 -最も長く続いている自動車のワンメイクレースシリーズとして認定-

マツダ株式会社(以下、マツダ)が特別協賛している「メディア対抗ロードスター4時間耐久レース(通称、メディア4耐)」が2024年9月21日に筑波サーキット(茨城県下妻市村岡乙159)で実施されました。本大会では「最も長く続いている自動車のワンメイクレースシリーズ(英名:Longest running one-make automobile racing series)」としてギネス世界記録™に挑戦し、正式に認定されました。



メディア4耐は、普段は取材する立場のメディアの皆さまが自身のレース参加を通じて、その魅力や楽しさを体感・情報発信することにより、日本の自動車文化の成熟へ寄与することを志として、「初代ロードスター」が登場した1989年に始まり、今回で35回目を迎えたワンメイクレースです。マツダは、その志に共感し、第1回大会から特別協賛しています。

レース終了後、同記録の認定式が実施され、ギネス世界記録™公式認定員の藤渕文香(ふじぶちふみか)氏から本大会の実行委員長の鈴木俊治(すずきとしはる)氏に認定証が贈呈されました。



ギネス世界記録認定式の様子

鈴木俊治氏は認定式において「1989年に生まれたロードスターは、ライトウェイトスポーツカーというジャンルを復活させ、絶やすことなく35年間歴史を刻み、確固たる地位を築きました。このメディア4耐もその歴史と並走する形で、のべ820台のロードスターが熱いバトルを繰り広げました。この世界に誇るレースがギネス世界記録に認定されたことは大変喜ばしいこと。これまで関わった皆様全員でお祝いし、また記録を更新していきましょう」と語りました。

全 35 回中、34 回参戦しているモータージャーナリストの斎藤 慎輔(さいとうしんすけ)氏は「35 周年の本日に到るまで、さまざまな困難や苦労があったと思います。本大会を支えてきた各関係者とマツダに敬意と感謝を申し上げます。今後も走り続け、モータースポーツの楽しさを世に伝えていこうと思います」と語りました。

本大会にドライバーとして参戦したマツダの代表取締役社長兼 CEO の毛籠 勝弘(もろまさひろ)は大会終了後に「メディアの皆様をはじめ、レースの運営を支えてくださる皆さま、そして応援してくださるファンの皆さまと共にこの世界に誇るべきレースを 35 年にわたって続けてこられたことに、心から感謝を申し上げます。これからもマツダは『クルマは楽しいものだ』と感じていただける体験を創造し、仲間と共有できる幸せを届けてまいります」と語りました。

以 上